

肝炎治療受給者証(ペグインターフェロン、リバビリン及びプロテアーゼ阻害剤3剤併用療法)の交付申請に係る診断書(再治療)

フリガナ		性別	生年月日(年齢)		
患者氏名		男・女	明・昭 大・平	年 月 日 生	(満 歳)
住所	郵便番号 電話番号 ( )				
診断年月	昭和・平成 年 月	前医 (あれば記載)	医療機関名 医師名		
過去の治療歴	<p>該当する項目にチェックする。</p> <p>1. インターフェロン治療歴  <input type="checkbox"/> 治療歴あり。          これまでの治療内容について該当項目を○で囲む          ペグインターフェロン、リバビリンおよびプロテアーゼ阻害剤(テラプレビル・シメプレビル・パニプレビル)3剤併用療法(中止・再燃・無効)</p> <p>2. インターフェロンフリー治療歴  <input type="checkbox"/> インターフェロンフリー治療歴あり。(薬剤名: )  <input type="checkbox"/> 直前の抗ウイルス治療がインターフェロンフリー治療である。</p>				
検査所見	<p>今回の治療開始前の所見を記入する。</p> <p>1. C型肝炎ウイルスマーカー(検査日: 平成 年 月 日)          (1) HCV-RNA定量 (単位: 、測定法 )          (2) ウイルス型(該当する方を○で囲む。)          ア)セロタイプ(グループ)1、あるいはジェノタイプ1          イ)セロタイプ(グループ)2、あるいはジェノタイプ2</p> <p>2. 血液検査(検査日: 平成 年 月 日)          AST _____ IU/l (施設の基準値: _____ ~ _____)          ALT _____ IU/l (施設の基準値: _____ ~ _____)          血小板 _____ /ul (施設の基準値: _____ ~ _____)</p> <p>3. 画像診断及び肝生検などの所見(検査日: 平成 年 月 日)          画像診断・肝生検(左のいずれかを○で囲む)          画像診断の方法: _____          所見: _____</p>				
診断	<p>該当番号を○で囲む。</p> <p>1. 慢性肝炎 (C型肝炎ウイルスによる。)          2. 代償性肝硬変 (C型肝炎ウイルスによる。)</p>				
肝がんの合併	肝がん 1. あり 2. なし				
治療内容	ペグインターフェロン、リバビリン及び(テラプレビル・シメプレビル・パニプレビル)3剤併用療法(該当する1つを○で囲む) 治療予定期間 24 週 (平成 年 月 ~ 平成 年 月)				
治療実施医療機関について	テラプレビルを含む3剤併用療法の場合、以下の項目にチェックがない場合は助成対象となりません。 <input type="checkbox"/> 日本肝臓学会肝臓専門医が常勤する医療機関である。 <input type="checkbox"/> 当該患者の3剤併用療法の実施に当たり、日本皮膚科学会が認定する専門医主研修施設又は研修施設に勤務する日本皮膚科学会皮膚科専門医と連携している。				
治療上の問題点					
医療機関名及び所在地			記載年月日 平成 年 月 日 電話番号 ( )		
(直前の抗ウイルス治療がインターフェロンフリー治療の場合はいずれかにチェックが必要) <input type="checkbox"/> 日本肝臓学会肝臓専門医 <input type="checkbox"/> 日本消化器病学会消化器病専門医					
医師氏名	印				

(注) 1. 診断書の有効期間は、記載日から起算して3か月以内です。  
 2. 記載日前6か月以内(ただし、3剤併用治療中の場合は治療開始時)の資料に基づいて記載してください。  
 3. 記入漏れのある場合は認定できないことがあるので、ご注意ください。  
 4. 本診断書は治療実施医療機関が発行することとする。